

都001	項目名	国土強靱化地域計画策定事業費 国土強靱化地域計画策定事業費	
予算書項目	国土強靱化地域計画策定事業費	ページ	41
年度	H30	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】事業調整係 0857-20-3253		
款 土木費	【10次総の施策体系】4201		
項 土木管理費	【事業の経過及び背景】 平成25年12月に国土強靱化基本法が制定され、国は大規模自然災害の発生時における人命保護・市民の財産や公共施設の被害の最小化、迅速な復旧・復興の指針とするための国の国土強靱化基本計画（平成26年6月）や鳥取県版「国土強靱化地域計画」（平成28年3月策定）が定められており、いかなる自然災害が起こっても、機能不全に陥らない安全安心な社会経済システムの構築が求められている。		
目 土木総務費	【事業の目的及び効果】 国・県など関係者相互連携のもと大規模自然災害に対する脆弱性の評価等を考慮しつつ、本市における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針となる「鳥取市国土強靱化地域計画（仮称）」の策定に昨年度より取組んでいる。 本市における国土強靱化の推進により、いかなる自然災害が起こっても、機能不全に陥る事が避けられるような「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な地域・経済社会を構築し、地域活性化と持続的な成長にも繋がる取組を目指す。		
(単位:千円)	【事業の内容】 国土強靱化地域計画策定委員会の開催		
補正前額	0	分担金 0	
要求額	131	負担金 0	
総務部長段階査定額	123	使用料 0	
市長段階査定額	123	手数料 0	
区分	補正額	財産収入 0	
財源内訳		寄付金 0	
国・県支出金	0	繰入金 0	
地方債	0	雑収入 0	
その他	0	その他 0	
一般財源	123		
計	123		
行財政改革課処理欄			

都002	項目名	都市再生整備事業費(青谷地区)	
予算書項目	都市再生整備事業費	ページ	45
年度	H30	所 属 名 都市整備部 都市企画課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】都市計画係 0857-20-3272		
款 土木費	【10次総の施策体系】4201		
項 都市計画費	【事業の経緯及び背景】 平成24年度より、地域生活拠点の再生を促進する方策を検討するために、学識経験者や住民の代表者により組織された委員会を行っている。平成25年12月に地域生活拠点再生整備計画（委員会提案）が作成され、その計画を基に平成26年3月に「都市再生整備計画（青谷地区）」を策定した。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 地域生活拠点の1つである「青谷地区」において、「都市再生整備計画（青谷地区）」に基づく生活基盤等の整備を進めることにより、中山間地域の暮らしを支え、安全で安心して暮らせる地域生活拠点の再生を図る。		
(単位:千円)	【事業の内容】 排水ポンプ増設事業 ・排水ポンプ1基（増設）、地盤変動影響調査業務一式 福井田川親水護岸整備事業 ・アスファルト舗装工A=250㎡、植栽工一式		
補正前額	93,200	分担金 0	
要求額	59,685	負担金 0	
総務部長段階査定額	59,685	使用料 0	
市長段階査定額	59,685	手数料 0	
区分	補正額	財産収入 0	
財源内訳		寄付金 0	
国・県支出金	24,000	繰入金 0	
地方債	33,800	雑収入 0	
その他	0	その他 0	
一般財源	1,885		
計	59,685		
行財政改革課処理欄			

都003	項目名	街なか居住推進事業費	
予算書項目	都心居住推進事業費	ページ	29
年度	H30		
所属名	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
補正前額	4,703		
要求額	1,445		
総務部長段階査定額	1,445		
市長段階査定額	1,445		
区分	補正額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	分担金	0
	地方債	負担金	0
	その他	使用料	0
	一般財源	手数料	0
	計	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276 【10次総の施策体系】3203 【事業の経過及び背景】 本市の中心市街地では居住や消費の郊外化、少子高齢化が進展するとともに、地域のコミュニティ機能の低下、空き家、空き地等の増加が懸念されている。 鳥取市中心市街地活性化基本計画（第3期計画）では、「若者層のまちなか暮らしの促進」を目標とし、子育て世代を含む若者層の転入施策を強化することにより、豊かでいきいきと暮らすことができる中心市街地を目指すことにしている。 【事業の目的及び効果】 街なか居住体験施設を整備・運営することで、中心市街地の居住地としての魅力（利便性や快適性など）を多くの方に体験してもらい、若年層を中心とした街なか暮らしの促進を図る。また、地域住民との交流や居住可能な空き家の紹介などを通じ、地域の活力の向上と空き家等の利活用の促進につなげる。併せて、中心市街地の情報発信につながる運営を行うことにより、中心市街地の魅力を幅広く伝えていく。 【事業の内容】 ○街なか居住体験施設整備運営事業 中心市街地内の空き家を借上げ、居住体験施設を整備する。			

都004	項目名	既存ストック活用居住促進地域連携事業費	
予算書項目	都心居住推進事業費	ページ	29
年度	H30		
所属名	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	853		
総務部長段階査定額	818		
市長段階査定額	818		
区分	補正額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	分担金	0
	地方債	負担金	0
	その他	使用料	0
	一般財源	手数料	0
	計	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収金	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】中心市街地整備課 0857-20-3276 【10次総の施策体系】3203 【事業の経過及び背景】 本市の中心市街地では居住や消費の郊外化、少子高齢化が進展するとともに、地域のコミュニティ機能の低下、空き家、空き地等の増加が懸念されている。 また、市場に流通している中心市街地の不動産は少なく、利便性の高い中心市街地内での居住需要を満たすに至っていない。そのため、市場に流通していない空き物件を掘り起こし、利活用を促進することが課題となっている。 平成28年度に開催した中心市街地の地域住民を対象としたワークショップでは、空き家等の利活用を促進するためには所有者の思いを聞き取り、活用する人とのマッチングを行うことが重要であり、その仕組みづくりが必要であるという意見がまとめられた。 【事業の目的及び効果】 地域や大学と連携して空き物件の実態や地域課題を解決する有効活用方策について調査を行うとともに、活用、居住希望者とのマッチングを提案することにより、民間（地域）主導による既存ストックの利活用を促進し、若年層の定住促進、地域のコミュニティ機能の充実につなげる。 【事業の内容】 ・大学との共同研究による実態調査 ・地域課題の解決につながる既存ストックの活用方策の検討 ・実証事業に向けた空き物件事前調査 ・先進事例公開学習会開催			

都005	項目名	遊休不動産利活用推進事業費	
予算書項目	遊休不動産利活用推進事業費	ページ	29
年度	H30		
所属名	都市整備部 中心市街地整備課		
会計名	一般会計		
款	総務費		
項	総務管理費		
目	企画費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	1,717		
総務部長段階査定額	1,717	その他財源の内訳	
市長段階査定額	1,717	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	772		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	945		
計	1,717		
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b>			
【問合せ先】 中心市街地整備課 0857-20-3276			
【10次総の施策体系】 3203			
【事業の経過及び背景】 中心市街地では、居住や消費の郊外化、少子高齢化の進展、事業所数の減少などにより、空き家・空き店舗などの遊休不動産が増加傾向にある。本市では、これらの遊休不動産を資源として、時代に適した新しい機能を加え再生することで、新たな産業、雇用、居住などを生み出し、中心市街地の魅力を高める「リノベーションまちづくり」を進めている。 平成29年3月に「リノベーションまちづくり」の方向性、官民連携による推進プロセスなどを定めた「鳥取市リノベーションまちづくり構想」を策定し、この構想に基づく取り組みを進めている。			
【事業の目的及び効果】 まちづくりの担い手である民間まちづくり会社等の育成や活動しやすい環境づくりにより、民間主導の持続的なまちづくりを推進する。また、一定のエリアにおける集中的な取り組みによるエリアの魅力向上により、その効果を中心市街地全体に波及させる。			
【事業の内容】 ・リノベーションまちづくり会議の開催 ・民間まちづくり会社等の育成、伴走支援 ・エリアマネジメントに係る調査検討			

都006	項目名	駐車場管理費	
予算書項目	事務費	ページ	41
年度	H30		
所属名	都市整備部 都市環境課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	土木管理費		
目	土木総務費		
(単位:千円)			
補正前額	212		
要求額	2,568		
総務部長段階査定額	2,568	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,568	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,568		
計	2,568		
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b>			
【問合せ先】 管理係 0857-20-3252			
【10次総の施策体系】 4201			
【事業の経過及び背景】 平成23年より運用を開始した市宮片原駐車場の防犯カメラシステムの録画機の不具合が、平成30年4月に指定管理者から報告された。			
【事業の目的及び効果】 市宮片原駐車場の適正な管理運営を行う。			
【事業の内容】 市宮片原駐車場の防犯カメラシステムの更新を行う。 事業費 2,568千円			

都007	項目名	普通河川改良事業費	
予算書項目	普通河川改良事業費	ページ	43
年度	H30		
所属名	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-20-3256		
款 土木費	【10次総の施策体系】4102		
項 河川費	【事業の目的及び効果】 河川災害を未然に防止するため、治水・環境衛生上重要な普通河川の改修・改良を行い、流域の浸水被害の軽減、環境改善を図る。		
目 河川総務費	【事業の内容】 ＜河川改良工事＞ 25,900千円 川合谷川改良工事 尾花谷川改良工事 日光川改良工事		
(単位:千円)			
補正前額	37,894		
要求額	25,900		
総務部長段階査定額	25,900	その他財源の内訳	
市長段階査定額	25,900	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	23,300		
その他	0		
一般財源	2,600		
計	25,900		
行財政改革課処理欄			

都008	項目名	治水対策事業費	
予算書項目	治水対策事業費	ページ	43
年度	H30		
所属名	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】河川係 0857-20-3256		
款 土木費	【10次総の施策体系】4102		
項 河川費	【事業の経過及び背景】 平成29年度大塚地区浸水対策工事の実施に伴い、工事区域内の消火栓及び電柱への予期せぬ影響が発生し、移設が必要となった。		
目 河川総務費	【事業の目的及び効果】 大塚地区浸水対策工事の実施に伴い、消火栓及び電柱の移設を行う。		
(単位:千円)	【事業の内容】 大塚地区浸水対策工事に伴う消火栓及び電柱の移設補償 事業費 4,000千円		
補正前額	29,512	その他財源の内訳	
要求額	4,000	分担金	0
総務部長段階査定額	4,000	負担金	0
市長段階査定額	4,000	使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	3,800		
その他	0		
一般財源	200		
計	4,000		
行財政改革課処理欄			

都009	項目名	街なみ環境整備事業費		
予算書項目	街なみ環境整備事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H30	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271			
款 土木費	【10次総の施策体系】 4201			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】			
目 都市計画総務費	・久松地区：鳥取城跡を間近に望むお堀に面した地区は、鳥取市景観計画の定める久松山系景観形成重点区域の中心に位置し、市内観光の中心であるとともに市民生活の場であるため、城下町の面影が伝わる景観形成を目指して、街なみ環境整備事業を行うものである。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
補正前額	118,860	城跡、お堀端の特性を活かした街なみ整備により、観光振興による地域活性化、地域文化の伝承、住民の定住化促進を図る。		
要求額	119,076	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	119,076	お堀端周辺の道路整備（美舗装化、電線地中化など）を関係機関や地域住民との協議を通して実施する。		
市長段階査定額	119,076	事業費 119,076千円 電線類地中化工事 道路改良・美装化工事 歩道改良 既設管移設補償		
区分	補正額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	37,548	使用料	0	
地方債	77,400	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	4,128	寄付金	0	
計	119,076	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				

都010	項目名	緑化推進事業費		
予算書項目	緑化推進事業費	ページ	45	所 属 名
年度	H30	都市整備部 都市環境課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3271			
款 土木費	【10次総の施策体系】 4102			
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】			
目 都市計画総務費	平成25年の「全国都市緑化とっとりフェア」の開催を契機に、ナチュラルガーデン倶楽部（講習会）の実施や市民等と協働による花壇を設置し、ナチュラルガーデンの普及に取り組んでいる。			
(単位:千円)	【事業の目的及び効果】			
補正前額	9,532	ナチュラルガーデン倶楽部の受講生の活躍の場を広げ、ナチュラルガーデンの適切な維持管理につなげることを目的とする。		
要求額	150	【事業の内容】		
総務部長段階査定額	150	鳥取市自然風緑化活動支援事業 事業費 150千円 鳥取市内に設置されているナチュラルガーデンの維持管理を行う団体に対し、維持管理に必要な消耗品等の経費について補助金を交付する。		
市長段階査定額	150	分担金	0	
区分	補正額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	150	繰入金	0	
計	150	贈収入	0	
		その他	0	
補助率	10分の10			
限度額	3万円/団体			
行財政改革課処理欄				

都011	項目名	全国「みどりの愛護」のつどい開催事業費	
予算書項目	全国「みどりの愛護」のつどい開催事業費	ページ	45
年度	H30	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 景観緑化係 0857-20-3273		
款 土木費	【10次総の施策体系】 4201		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 全国「みどりの愛護」のつどいは、「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、緑の保全育成に携わる方々が一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進することを目的として、平成2年から開催されている。 式典では、みどりの愛護団体に対する感謝状の授与や記念植樹などの催しが行われている。 本市では、平成31年の開催に向け鳥取県と一緒に取り組んでおり、平成30年度は県に事務局が設置され、県と市から専任職員が配置されている。		
目 都市計画総務費	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円		
補正前額	1,011	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
要求額	359	【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円	
総務部長段階査定額	359	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
市長段階査定額	359	【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円	
区分	補正額	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
財源内訳		【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円	
国・県支出金	0	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
地方債	0	【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円	
その他	0	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
一般財源	359	【事業の内容】 式典視察、国交省との打ち合わせ等の旅費 359千円	
計	359	【事業の目的及び効果】 鳥取市政130周年や新庁舎完成を迎えるこの時期に、全国規模の緑化イベント（参加者数約1,500人）を開催することで、本市の魅力を全国へPRすると共に、緑の大切さやその魅力を見つめ直し、協働による緑のまちづくりの取組みを活性化させる。 平成30年度は、当年度開催地である滋賀県の式典視察、事務引継ぎ等を行う。また、開催機運を高めるための関連事業を実施する。	
行財政改革課処理欄			

都012	項目名	公園整備事業費	
予算書項目	公園整備費	ページ	45
年度	H30	所 属 名 都市整備部 都市環境課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 公園係 0857-20-3273		
款 土木費	【10次総の施策体系】 4201		
項 都市計画費	【事業の経過及び背景】 社会資本整備総合交付金（公園事業）、起債等をを活用し、公園事業を推進する。		
目 都市公園整備費	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。		
(単位:千円)	【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円		
補正前額	65,894	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
要求額	104,422	【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円	
総務部長段階査定額	104,422	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
市長段階査定額	104,422	【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円	
区分	補正額	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
財源内訳		【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円	
国・県支出金	44,900	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
地方債	51,500	【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円	
その他	0	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
一般財源	8,022	【事業の内容】 公園施設更新工事（交付金・・・基幹事業） 事業費 90,814千円 東富安公園テニスコート人工芝張替工事（起債事業） 事業費 13,608千円	
計	104,422	【事業の目的】 緑の拠点となる、街区公園・近隣公園・地区公園及び公共空地の整備を進めることにより、安全・安心して利用できる公園づくりを推進する。	
行財政改革課処理欄			

都013	項目名	地域コミュニティ支援事業費	
予算書項目	公園整備費	ページ	45
年度	H30		
所属名	都市整備部 都市環境課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	都市計画費		
目	都市公園整備費		
(単位:千円)	補正前額	0	
	要求額	2,300	
総務部長段階査定額	2,300	その他財源の内訳	
市長段階査定額	2,300	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	2,300
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	2,300		
一般財源	0		
計	2,300		
事業の概要	<p>【問合せ先】公園係 0857-20-3273</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【事業の経過及び背景】 一般財団法人自治総合センターが、宝くじの普及広報事業費を財源として実施するコミュニティ助成事業に、パークタウン面影町内会が申請していた事業が採択されたことによるもの。 当該助成事業は、地方公共団体を通じて申請者へ助成金を交付する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 本事業により、遊具の新設を行い子供の遊び場を整備し、住民が気軽に集える場を提供することで、地域交流等が活性化される。</p> <p>【事業の内容】 一般コミュニティ助成事業（補助率100%） 大杵公共空地遊具施設整備助成金 2,300千円</p> <p>※その他財源の諸収入は、コミュニティ助成事業助成金</p>		
行財政改革課処理欄			

都014	項目名	都市公園等管理費	
予算書項目	公園管理費	ページ	45
年度	H30		
所属名	都市整備部 都市環境課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	都市計画費		
目	公園管理費		
(単位:千円)	補正前額	210,964	
	要求額	5,948	
総務部長段階査定額	5,948	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,948	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	5,948		
計	5,948		
事業の概要	<p>【問合せ先】公園係 0857-20-3273</p> <p>【10次総の施策体系】4201</p> <p>【事業の経過及び背景】 平成30年2月に安蔵公園の指定管理者より、管理棟の水道の滅菌機の故障と応急処置について報告があった。 また、平成29年度に国から譲与された安長土手については、引き続き危険度の高い樹木の伐採や剪定が必要な状況である。</p> <p>【事業の目的及び効果】 安蔵公園管理等の滅菌処理施設の修繕、安長土手の危険木の伐採等を行い、安全・安心な憩いの場を市民に提供する。</p> <p>【事業の内容】 安蔵公園滅菌処理施設修繕 1,628千円 安長土手維持管理業務 4,320千円</p>		
行財政改革課処理欄			

都015	項目名	一般道補修費	
予算書項目	一般道補修費	ページ	41
年度	H30		
所属名	都市整備部 道路課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路維持費		
(単位:千円)			
補正前額	150,398		
要求額	1,100		
総務部長段階査定額	1,100		
市長段階査定額	1,100		
区分	補正額	その他財源の内訳	
国・県支出金	0	分担金	0
地方債	0	負担金	0
その他	1,100	使用料	0
一般財源	0	手数料	0
計	1,100	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	1,100
		その他	0
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】維持第一係、維持第二係、新設改良係 0857-20-3262、3263、3254

【10次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】  
地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保すべく道路施設を改良する。

【事業の目的及び効果】  
地域からの要望による道路改良を行い、通行者の安全を確保する。

【事業の内容】  
市道徳吉福和田線改良工事に伴う用地取得費

※その他財源の諸収入は、東部広域負担金

都016	項目名	除雪費	
予算書項目	除雪関係費	ページ	41
年度	H30		
所属名	都市整備部 道路課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路維持費		
(単位:千円)			
補正前額	5,089		
要求額	8,339		
総務部長段階査定額	8,339		
市長段階査定額	8,339		
区分	補正額	その他財源の内訳	
国・県支出金	1,150	分担金	0
地方債	3,900	負担金	0
その他	0	使用料	0
一般財源	3,289	手数料	0
計	8,339	財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
行財政改革課処理欄			

**事業の概要**

【問合せ先】管理係 0857-20-3261

【10次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】  
市民生活への影響を最小限とするため、速やかな除雪を行うことにより除雪路線の円滑な交通確保を行う。

【事業の目的及び効果】  
幹線、バス路線などの除雪路線の除雪を行い円滑な交通を確保する。

【事業の内容】  
消雪施設除塵機点検  
貸し出し用排雪装置（スノーブラウ）2基  
スノーブラウ設置補助（補助率10/10、上限65万円）  
除雪機械運転手育成支援補助（補助率2/3の財源は、市1/3、県1/3）

都017	項目名	社会資本整備総合交付金事業費	
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	43
年度	H30		
所属名	都市整備部 道路課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路新設改良費		
(単位:千円)			
補正前額	81,427		
要求額	41,444		
総務部長段階査定額	41,444	その他財源の内訳	
市長段階査定額	41,444	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	15,180	
	地方債	25,000	
	その他	0	
	一般財源	1,264	
	計	41,444	
行財政改革課処理欄			

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、3263、3254

【10次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】  
社会資本整備総合交付金による市道整備を推進する。

【事業の目的及び効果】  
集落間を結び生活に密着した道路である市道の新設改良を行うことにより、利用者の利便性向上を図るとともに、安全で快適な道路環境を整える。

【事業の内容】  
社会資本整備総合交付金（道路局）（交付率50%）  
・上砂見3号線・宮橋  
・下砂見1号線・倉内橋

都018	項目名	防災・安全交付金事業費	
予算書項目	地方道路整備交付金事業費	ページ	43
年度	H30		
所属名	都市整備部 道路課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	道路橋梁費		
目	道路新設改良費		
(単位:千円)			
補正前額	500,872		
要求額	172,690		
総務部長段階査定額	160,690	その他財源の内訳	
市長段階査定額	160,690	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	50,142	
	地方債	102,100	
	その他	0	
	一般財源	8,448	
	計	160,690	
行財政改革課処理欄			

### 事業の概要

【問合せ先】維持第1係、維持第2係、新設改良係 0857-20-3262、3263、3254

【10次総の施策体系】4201

【事業の経過及び背景】  
防災・安全交付金による市道整備を推進する。

【事業の目的及び効果】  
安全で安心できる生活空間の整備のため、橋などの重要構造物の点検、補修、危険箇所  
の防災対策などを実施するとともに、通学路などの歩道を重点的に整備することにより、  
安全で安心できる幅広い生活空間を創出する。

【事業の内容】  
防災・安全交付金事業（道路局）（交付率50%、55%、67%、長寿命化対策債）  
・橋梁点検、補修  
・中大路雲山線ほか改良工事  
・道路照明灯、カーブミラー等の改修

都019	項目名	建築指導事務費	
予算書項目	事務費	ページ	41
年度	H30		
所属名	都市整備部 建築指導課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	土木管理費		
目	建築指導費		
(単位:千円)			
補正前額	2,804		
要求額	84		
総務部長段階査定額	84	その他財源の内訳	
市長段階査定額	84	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	84		
計	84		
事業の概要			
【問合せ先】 審査係、建築指導係 0857-20-3281			
【10次総の施策体系】 5301			
【事業の経過及び背景】 建築基準法に基づく建築確認申請の審査・確認・検査及び建築指導、また建設リサイクル法による指導など、建築指導行政の充実を図ることにより建築物の安全性を確保するとともに安全安心なまちづくりに努める。			
【事業の目的及び効果】 建築指導担当者を対象とした研修会等へ参加することにより、建築基準法等関係法令に関する知識を習得するとともに、各自治体で起こっている課題・問題点について意見交換を行い研鑽を深めることにより、本市の建築行政に役立てる。			
【事業の内容】 鳥取市内の土地について、建築基準法第42条第2項の規定に基づく指定処分が存在しないことを確認する旨の訴訟の結審後の対応として、鳥取地方裁判所より訴訟費用額確定処分の通知があり、訴訟費用を支払うもの。			
行財政改革課処理欄			

都020	項目名	ストック総合改善事業費 西浜団地ストック総合改善事業工事費	
予算書項目	ストック総合改善事業費	ページ	45
年度	H30		
所属名	都市整備部 建築住宅課		
会計名	一般会計		
款	土木費		
項	住宅費		
目	公営住宅建設費		
(単位:千円)			
補正前額	0		
要求額	130,792		
総務部長段階査定額	130,792	その他財源の内訳	
市長段階査定額	130,792	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	補正額		
国・県支出金	57,947		
地方債	72,800		
その他	0		
一般財源	45		
計	130,792		
事業の概要			
【問合せ先】 住宅係 0857-20-3291			
【10次総の施策体系】			
【事業の経過及び背景】 建物は昭和53年から56年にかけて3棟36戸を建設しており、老朽化が進んでいる。			
【事業の目的及び効果】 社会資本整備総合計画に基づくストック改善を行い、高齢者などの安全や利便性にも配慮した住宅にリフォームすることにより住環境の改善を図る。			
【事業の内容】 西浜団地3棟36戸を順次リフォームを行う。 <平成30年度> ・西浜団地53年棟改善工事 ※債務負担：平成31年度まで (中層耐火構造 3階建 12戸⇒11戸) ・西浜団地54年棟改善工事実施設計			
行財政改革課処理欄			